

人財育成・教育事業委員会【若手・人財育成部門】/【男女共同参画部門】/【社会貢献部門】の概要

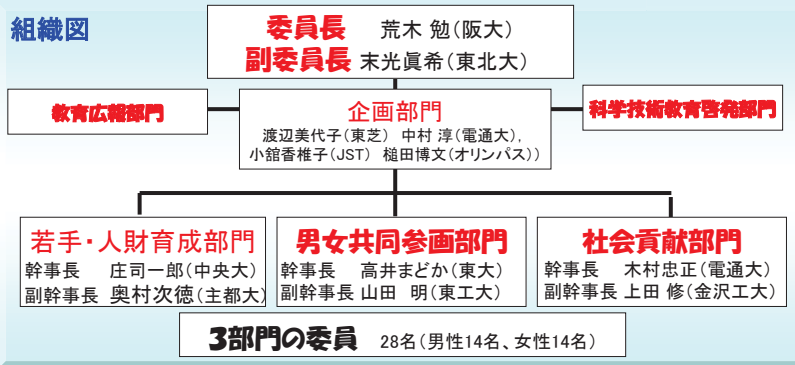
設立の経緯

2001年2月 男女共同参画ネットワーク準備委員会を発足
2001年7月 「男女共同参画委員会」設立
2006年3月 「人財育成・男女共同参画委員会」へ発展的改称
2011年4月 「人財育成・教育事業委員会」へ改編

目標

老若男女を問わず、誰でも専門性を活かして貢献できる社会の構築を目標としています。「男女共同参画部門」「学生・若手部門」「社会貢献部門」の3部門と各種WGから構成され、特別顧問の先生方のご協力のもと、28名の委員が幅広い活動を行っています。大きな社会的影響力を持つ応用物理学会において活動を行うことで、男女共同参画の推進を通じて学会の活性化、ひいては社会の活性化に寄与したいと考えています。

組織図



【若手・人財育成部門】/【男女共同参画部門】/【社会貢献部門】の主な活動

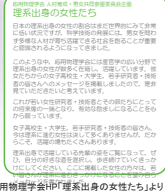
シンポジウムの開催

春季・秋季学術講演会において2001年より人財育成および男女共同参画に関するシンポジウムを開催しています。

「理系出身の女性たち」HPおよび「応用物理分野のキャリアデザイン(ロールモデル集)」

女性・若手研究者とその卵たちにとっての将来像の一端となり、有効な励ましになれば、との思いから応用物理学会HPにて「理系出身の女性たち」ページを設置、女性研究者のロールモデルの紹介を行っています。

また、応用物理分野の男女の研究者によるロールモデル集を作成し、キャリアデザインの紹介をしています。



男女共同参画全般

託児室の設置

2005年より春季・秋季学術講演会に託児室を設置してきました。利用者は既に100名を大きく超えました。



託児室の様子

国際交流

2008年にInternational U of Pure and Applied Physics (IUPAP)-WG "Women in Physics"にて講演、2010年にはAsia-Europe Physics Summit (ASEPS)にてポスター発表を行いました。



中高生の理系進路選択支援

女子中高生の理系進路選択の支援を目的として、女子中高生と科学研究者・技術者、理系大学生・大学院生と交流し、理系の魅力を伝える場として2008年から「女子中高生夏の学校～科学・技術者のたまごたちへ～」を共催しています。2010年にはキャリア講演、サイエンスアドベンチャー(科学探検隊)での実験、ポスターセッション等を通して多くの女子中高生の皆さんと交流を持ちました。



キャリア講演



実験の様子

表彰事業

2009年に小館香椎子先生により、女性研究者奨励育成貢献賞(小館賞)が設立され、2010年度受賞者は、A部門:学会活動を通して応用物理学の研究活動において著しい成果をあげた女性研究者に 美濃島薫氏(AIST)、B部門:男女共同参画活動の推進・人財育成に貢献することで科学技術の発展に大いに寄与した研究者(男女対象)に後藤俊夫氏(中部大学副学長)が選ばれました。



博士のキャリア相談会の実施

2008年秋季より博士人材と求人側の直接的なインターセクションの場を提供する「博士(プレ、ポストを含む)のためのキャリア相談会」を春季・秋季学術講演会において開催しています。各回十数機関からのキャリアアドバイザーブースが開設され、100名を大きく超える来場者に恵まれ、活発な交流が行われています。



博士のキャリア相談会ポスターより

若手研究者の育成・支援/社会貢献

コミュニケーションプラザの開設

2010年春季より学会参加者が自由に集まり歓談できる場として開設されました。研究分野の枠、シニア・若手の年齢の枠を超えた交流やキャリア相談などが活発に行われ、人材交流の助けになっています。

キャリア・エクスプローラーマークの導入

求職側であるポスドクあるいは学生と、求人側である企業・大学・研究所のインターセクションの場である学術講演会において、講演者が求職中であることを明示できるよう、2008年の春季講演会より **キャリア・エクスプローラーマーク**(CEマーク)の運用を開始しました。発表者である求職中のポスドク・学生はCEマークをプログラムや予稿集、ポスター、発表用資料などに表示することができます。この活動はNature誌でも紹介されました。



CEマーク

応用物理分野の将来ビジョン

アカデミックロードマップ(人材育成)の作成

人材育成クラスターでは、「科学技術創造立国」を推し進めるべく、次世代を担う科学者・技術者の育成を目標とし、2008年に「間口を広げる」「女性研究者」「トップを上げる」「産学連携」の4つの観点からロードマップをまとめました。2010年にはこのマップの見直しを行うとともに、横断型マップ・発展型マップを作成し、具体的な提言を行っています。



インフォーマルミーティングの開催

2010年秋季学術講演会では、「若手のキャリアデザイン」と題してこれまでに行ってきた「博士のキャリア相談会」の現状について紹介しました。企業や大学が求める人材、学会における若手支援のあり方などについて議論が行われました。2011年の秋の講演会では、「若手・女性研究者のネットワーク構築」-事例から実践へ-の内容で大学、企業、研究所の取り組みを紹介し実践へ向けた討論を行う予定です。



ミーティングのポスターより

詳細は下記HPをご覧ください。

社団法人 応用物理学会 人財育成・教育事業委員会
<http://www.jsap.or.jp/activities/education/index.html>